

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クローバーふたば		
○保護者評価実施期間	2025年2月18日		2025年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年2月18日		2025年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関連園の児童が多く利用されていることもあり、園との情報共有や利用についての相談などはしやすい点。	関連園については各園の園長や主任、担任とも連絡を取り、保護者の方が困っていること、最近の園での様子等を聞きつつ、活動に反映すること。	法人内でもクローバーの事業をより知ってもらい、また保護者についても気軽に足を運んでいただける機会を持ちたいと考え、関連園が実施するサマースクール、子ども祭りでの事業所開放をR7年度より実施予定。
2	働いている方が下野市内でも8割超となる中、児童発達支援及び放課後等デイサービスにおいて、送迎対応を実施している点。	下野市外においても一部送迎できる地域についてはニーズがあれば実施できている(上三川町の一部)	過去に問合せのあった宇都宮市南部についても今後、利用ニーズがあった際には検討したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種内部の規則・マニュアル部分の浸透	BCPやほかの規程類についてもそろっていても職員への周知不足となっていることが本アンケートにて認められたため。	毎月の職員会議時に、都度、マニュアルや規定類の確認を行う時間を設けたい。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等は少ない	保護者に対して自治体などから案内があったものを周知したが、有識者などの講演会を事業所にて企画することはなかった。	研修等で講師と知り合った際は講演の依頼ができるよう検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 クローバーふたば

公表日 2025年3月31日

利用児童数 29組 回収数 16組

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	5				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	5				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3				
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	3		1	利用して間もない為不明	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1	利用して間もない為不明	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		2	利用して間もない為不明	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	1	3	利用して間もない為不明	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	4	利用して間もない為不明	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	1	1	毎回利用内容がわかるのはありがたいです	ありがとうございます。 今後も児童の様子が変わりやすい内容となるよう努めていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3		2	利用して間もない為不明	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			2	利用して間もない為不明	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	3	7	利用して間もない為不明		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		7	利用して間もないため不明	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	2		6	利用して間もないため不明	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			6	利用して間もない、事故発生していないため不明	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1			息子はクローバーに行く日を本当に楽しみにしています。先生方のおかげです。ありがとうございます。とっても楽しみに通っています。	ありがとうございます。今後も楽しく活動し、改善がみられるよう協力して実施していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			送迎ありがたい。毎回何をしたらかわかりやすいので夫とも共有しやすい。丁寧に一人一人の個性を大切に子供達を支援してくれています。	ありがとうございます。いつも園や学校へのご連絡、情報共有あってこそ成り立っております。今後ともよろしくお願ひします。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス クローバーふたば

公表日 2025年3月31日

利用児童数

15組

回収数

6組

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2	1	1	動き回ったりするとは思うので広いスペースのがいいのかなと思います。 学習するにはちょうど良いが体を動かすとなるともう少し広い方が良いのではないかなと思う。	ありがとうございます。 広さを変えることは難しいですが、片付け等工夫して少しでも広く活動できるよう今後も工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1			本人にわかりやすい構造化された環境はいいと思いますがバリアフリーとかは難しい感じがします	ありがとうございます。 入り口等に段差等があるため、難しい面はありますが安全に使用できるよう職員一同協力していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	6					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2		2	必要性を感じない。今のままで良いと思います。	ありがとうございます。 現状は長期休み時に児童館へ行ったりぐらいの活動となっております。今後も地域資源をうまく活用しながら進めてまいります。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	2	1	必要性を感じない。今のままで良いと思います。	市内の方、8割強の方が共働きということもあり、保護者会は難しい面もありますが、イベント等については今後のご意見も含めて検討して参ります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1				長期休暇は朝8:30に自宅まで迎えに来て頂けると助かります。 ありがとうございます。今後の運営の参考とさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス クローバーふたば		公表日		2025年3月31日	
環境・体制整備	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		部屋が一つのため、パーティションで部屋をわけて、個別療育等を行うなどしている。 部屋が一つのため、パーティションで部屋をわけて、個別療育等を行うなどしている。	基準上は2.47m/人以上となっているので倍以上の面積は確保しているが、運動を行うには捨いに越したことは無い。工夫や片付け等で少しでも活動時広く使用できるように工夫していきたい。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		常勤の先生がたくさんいたのでよかった！ 急な休みが出ても回せる。 午後発と放課後デイの送迎が重なる時間帯は、園児の机上を少し短縮するなどしてバタバタしたり、午後発と午前の送迎終了後の休憩を少し短縮しての出発になったりして先生もいたが、新年度人数と職員配置が落ちれば対応できそう。	同じ規模の他法人事業所と比較すると、常勤割合を高くしているため、情報共有等の面では非常に良い面が出ていると考えています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	運動器具が子供の目につくところにあり、活動の妨げになっている時があった。 触りたい、出したい、遊びたいと見える器具にかけよってしまおう。 目で見てわかるように流れなど伝え方を工夫している	感覚統合遊具等、大きなものが多いため、難しい面もあるが、パーティション等利用しながら、今後も工夫していきたい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	暑い日、あたたかい日の室内温度や湿度が高くなり運動するのに厳しい日もあった。エアコンやサーキュレーターをつける、適度に換気などをする、子供に給水させるで対応した。	今後も室温計など見つつ、適切に運営したい。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	パーティションを使い、必要に応じて個に合った空間づくりができる。 最近、クールダウン部屋としてトイレのドアを開けた洗面所の中で過ごす園児がいる。ちらちらとドアを開けてこちらの様子を伺いながら、自分なりの方法でクールダウンしているが… 個別の部屋は難しいがパーティション等で必要に応じて区切っている	1部屋となっているため、パーティションをうまく使用しながら使用している。今後も方法を検討していきたい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	職員会議時に職員間で出た意見を話し合ったりしている	—	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	新しい事業所である為、今回より考えていければ良いと思う。 評価表というものはないがモニタリング時や今回行っているような年1回のアンケートで今後改善につなげればよいと思う。	—	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議時	—	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	関連園で実施しているような第三者評価は受審していない	—	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		ジョブメドレーアカデミーや施設内研修や外部研修等を実施している	—	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公表されている	—		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		適切に実施されていると思うが、今後のことも考えてアセスメントが属人化しないように新たにシステム検討中である。	新しくco-miiというシステムを導入し、今後の運営の手助けとしたい。		
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		利用者について情報交換、共通理解をする時間を設けている。 水曜日の会議のおかげで、子供たちの実態現状について全員で情報交換できた！ 毎週、児童について話し合う機会を設けている。	—		
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		問3と同じ 職員会議時に共有している。また作成時に職員間で回覧している	—		
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	アセスメントについて確認する項目等は決まっている。	—		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		—	—
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		相談できる同僚がたくさんいた。運動チームと机上活動チームに分けて立案などをしている。	—
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		意見を出し合う場を設けている。メインとなる活動のテーマはおおむね決めているがその日のメンバーなどにより内容等は微調整をしている。	—
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		—	—
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		児童を迎える前に話し合っている。	—
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	午前午後と利用人数が多いは園児のハグのつち終わりも放課後デイの帰り間際になってしまふ暇あたりで、話せない日も中にはあった。	長期休み等一日、学童がいる際に難しい時があるため、送迎等を工夫し、時間を確保したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		—	—
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1度実施している。	—
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管もしくは管理者が参加している	—
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	病院はないが関連園と連携などはしている	—	
関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	関連園とは共有したりしている	—
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	就学時の移行はまだ迎えていないが、移行の際には情報交換を行う予定である。わからない	—
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	2	こぼと園を併用していたりする児童については個別に問合せしたりすることもあった	—
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	子供達が社会と交流する機会という点ではなかなか儲けるのが難しかった。在園しているところ以外、クローバーとしてはない	—
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	クローバーで実施した内容等は活動写真とコメントで共有されている	—
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	自治体などからいただいた研修会や講演会等は保護者にも周知させていただいている	—
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明している	—
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご契約時に何っている	—
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		—	—

	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて電話連絡、LINE、面談を実施している	—
保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者会はない	—
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		必要に応じて電話連絡、LINE、面談を実施している	—
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		—	—
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		—	—
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		—	—
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	説明会、体験会など？ 令和7年度から法人にて実施している施設開放行事をクローバーでも実施予定。	R7年度より関連園にて実施しているサマースクール、子ども祭り等に参加し、事業所解放、体験を行う予定。
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	準備しているものもあるが、発生した時に職員同士で意見を出し合い対応している場合もある。 会議などで起きた時の打ち合わせ等はできている。	—
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	—	BCPの策定は行っているが、周知、把握に一部課題が認められるため、今後の職員会議時に再度共有したい。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		—	—
45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	現在、給食利用児にアレルギーのある子どもはいないが、今後、アレルギーのある子どもの利用があれば、対応していく。 今のところ若干名なので。	—	
非常時等の対応	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		—	—
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に避難場所等を口頭にて説明	—
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		—	—
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時にご説明	—

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス クローバーふたば				公表日	2025年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		下校時間等によってパーティション等で区切ったりしている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		他事業所と比較しても多い方だと思う	同じ規模の他法人事業所と比較すると、常勤割合を高くしているため、情報共有等の面では非常に良い面が出ていると考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	子どもの目に入る場所に器具があり、活動の妨げになることがある。 一日の流れをホワイトボードに示してわかりやすいようにしている	感覚統合遊具等、大きなものが多いため、難しい面もあるが、パーティション等利用しながら、今後も工夫していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	暑い日、あたたかい日の湿度や室内温度が、たくさん運動するには少し厳しい環境であった。 清潔にされている	今後も室温計など見つつ、適切に運営したい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	パーティションを使い、必要に応じて部屋を区切って利用している。 部屋が一つの為、パーティションを利用し区切る等工夫している。 クールダウン場所、具合の悪い時に休む場所がない。 (後半は子供達が自らクールダウン場所を見つけて使用していた。洗面所のドアを開けて、コアラスイングのパーティションの中。長机の下など) 個室はないがパーティションなどで区切られるようにしている	1部屋となっているため、パーティションをうまく使用しながら使用している。今後も方法を検討していきたい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	1	—	—	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	年1回のアンケート実施により、今後改善につなげていけるといえると思う。またモニタリング時にいただいたご意見を参考にさせていただいている。	—	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	定期的に会議を設けている。 職員会議を毎月実施してその際に課題など話し合っている。	—	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	関連施設で実施しているような第三者評価はしていない	—	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		ジョブメドレーアカデミー、法人内研修等実施されている	—	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公開している	—	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		—	—	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		定期的に子どもについて話し合う場を設けている。 水曜日の児童に関する会議や日々の会話の中で児発管もしくは管理者が参加している	—	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		—	—	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	アセスメント項目は決まっている。	—	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		—	—
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		曜日の担当性は子供の特性、成長の過程がよく見え、それに沿った支援ができ、よかったと思う。	—
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		—	—
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		利用している児童の構成によって多少内容を工夫している	—
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		—	—
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	なかなか時間が取れないのが現状 気になった点は共有している	長期休み等一日、学童がいる際に難しい時があるため、送迎等を工夫し、時間を確保したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		—	—
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		—	—
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		—	—
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		—	—	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	—	—
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	卒園した園には様子を関連園に限り、聞いたりしている	—
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		—	—
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		—	—
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6	できて間もない施設であり障害福祉サービス事業所等へ移行するケースがない。 まだ、対象者がいない為そのようなことはないが将来的に必要なと感じる。 まだわからない 該当するような児童が今のところいない	対象児童がまだいないため、今後の課題としたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	—	—
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	地域の児童館や図書館等を積極的に利用し交流を図る機会をもっている。	—
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	わからない	自治体にて実施している会議には年に数回参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		—	—

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	自治体などから案内された講演会などは周知している	—
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		—	—
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		—	—
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		—	—
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		—	—
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5	—	—
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		—	—
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		—	—
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		—	—
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		—	—
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	説明会、体験会など？ 令和7年度から法人にて実施している施設開放行事をクローバーでも実施予定。	—
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	準備しているものもあるが、発生した時に職員同士で意見を出し合い対応している場合もある。 会議などで起きた時の打ち合わせ等はできている。	—
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	—	BCPの策定は行っているが、周知、把握に一部課題が認められるため、今後の職員会議時に再度共有したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		—	—
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	現在、給食利用児にアレルギーのある子どもはいませんが、今後、アレルギーのある子どもの利用があれば、対応していく。 今のところ若干名なので。	—
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		—	—
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に避難場所等を口頭にて説明	—
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		—	ヒヤリハットの事例があった際には全体チャットにて共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		—	県にて実施している虐待研修にR6年度は管理者が参加。その後、職員対象に研修実施（2月）
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時にご説明	—	